

# 子どもたちが主役 “SDGs”を達成しよう!

SDGsとは、2015年9月に世界の国々が決めた「持続可能な開発のためのグローバル目標」、世界のすべての人々が幸せに暮らす社会をつくるための目標です。この目標は私たちの日々の暮らしにしっかりとつながっています。一人ひとりに何ができるのでしょうか。

※ Sustainable (持続可能な) Development (開発) Goals (目標) の略



環境省 中部環境パートナーシップオフィス  
チーフプロデューサー  
中部地方 ESD 活動支援センター チーフ/統括

## 新海 洋子氏

まずは17の目標のマークをよく眺めてみて! やってみたいこと、できると思ったことを行動にしてほしい。友だちや家族と一緒に取り組むのもとってもいいですね。

### 17の目標を見て何ができるか考えよう

もうひとつ重要なのは、「私」が何かをしなれば目標が達成できないということ。すべての人が取り組むために、未来をつくる子どもたちに色んな活動を提案してほしいのです。世界の国々が目標達成のために何かをし、つながる。その力が世界を変えていくのです。

「貧困をなくすこと」「すべての人が健康であること」「すべての人が平和であること」など、17の目標を掲げているSDGs。この目標は、地球上に生きているみんなの「約束」です。政府や国の代表だけでなく、世界中の子どもや若者、たくさんの人や組織が参加し、協力して決めました。

この目標がなぜ必要で、大切に、世界中の共通の目標になったのかを知ってほしい。それは、命を育む地球環境が悪化している状況や、貧困状態で命を失う人がたくさんいる状況を何とかするため、なくすため、すべての命を大切にするため、です。

### 地球に暮らす一人としてアクションを!

一人ひとりが何かをする時に、地球上の命に思いをはせ、地球に暮らす一人としてできることがある。そう思えるようになるのがこの目標です。地球が、世界が抱えている深刻な問題を、私には関係ないと思ってしまうかもしれない。でもそうではないのです。日々の小さな行動一つひとつの積み重ねによって解決に近づいていきます。

子どもたちだからできることがある、子どもたちにはその力があることに気づいてほしいのです。SDGsが大切にしているのは「誰も置き去りにしない」こと。一人ひとりのSDGsアクションを始めましょう。2030年、目標達成に向けて! みんなが主役です。

例えば「牛乳パックや紙のリサイクル」(目標12、15)「食べ物を残さない」(目標2、9、14、15)「環境のことを考えて作られた商品を買う」(目標12・14・15)など。どんな行動がどの目標につながるか考えることも大切です。こうしたらどうだろう、こんなことができなかなかなど、見つけてほしいのです。日々の暮らしの中のものとして目標につながっていることがわかるはず! みんなでチエックして共有するのもいいですね。

## 「地球にやさしいお買い物」でSDGs

### 環境のことを考えた商品を選ぶ ~マークを探そう

ノートやペンなどの文房具も、環境のことを考えて作られたものを選ぶことでSDGsにつながります。買う時はお店で、その目印になる「環境マーク」を探してみましよう。



この他にも色んな環境マークがあるよ!



### 食品ロスをなくす ~食べ物を残さない、捨てない

日本では食糧のうち半分がまだ食べられるのに捨てられており、その食品ロスを減らすこともSDGsになります。ユニーでも減らす努力をしていますが、出たしまった分はリサイクルしています。



### 地産地消 ~地元でとれる、作られたものを買う

地元で生産されたものを地元で消費する地産地消。運搬に使われるエネルギーを減らし、環境負荷も減らすことができます。また、地域の産業を活性化することができます。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

### 世界を変えるための17の目標

<b>1</b> 貧困をなくそう	<b>2</b> 飢餓をゼロに
<b>3</b> すべての人に健康と福祉を	<b>4</b> 質の高い教育をみんなに
<b>5</b> ジェンダー平等を実現しよう	<b>6</b> 安全な水とトイレを世界中に
<b>8</b> 働きがいも経済成長も	<b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう
<b>10</b> 人や国の不平等をなくそう	<b>11</b> 住み続けられるまちづくりを
<b>13</b> 気候変動に具体的な対策を	<b>14</b> 海の豊かさを守ろう
<b>15</b> 陸の豊かさを守ろう	<b>16</b> 平和と公正をすべての人に
<b>17</b> パートナリシップで目標を達成しよう	

### みんなが気づいたSDGsを、周りに伝えて広げてほしい!

ユニーではSDGsの活動に積極的に取り組んでおり、参加型のイベントも実施しています。そのひとつが子ども環境学習です。アピタでは夏に、リサイクルの工夫や環境にやさしい商品探し、エコ工作などを体験できる「エコロお店探検隊」を開催。ピアゴでは秋に、環境について知る「エコクイズラリー」を開催しています。また、大型店舗ではメーカーや行政と協力し、エコ体験ができる「エコ博」を開催しています。これらのイベントに参加した子どもたちは、SDGsのタネを見つけ、何かを学び、何かに気づいて帰っていきます。近くのお店や興味あるものにぜひ参加してください。そこで見たり聞いたり、体験したことを、家族や友だち、周りの人にも伝えてください。そして一緒に実行してください。その一つひとつが社会を、世界を変える力になります。



ユニー株式会社  
業務本部 CSR 部長  
百瀬 則子氏



未来の子ども達のためにユニーはSDGsに取り組んでいきます

